

北陸発のふ・る・さ・と探訪

北陸の地下構造と地震

日時 平成19年 **11月3日(土・祝日)** 14:00～16:00

会場 金沢大学 大学教育開放センター(金沢市角間町)

入場無料

講演①

「日本列島の成り立ちと北陸の地震」

講師 富山大学大学院理工学研究部 准教授 渡邊 了

3月の能登半島地震、7月の中越沖地震と、今年はたて続けに日本海側で地震が起きました。日本海側は太平洋側に比べて地震が少ないという印象がありますが、被害地震の記録は、1948年の福井地震をはじめ決して少なくありません。北陸の地形をよく見てみると、わたしたちの住んでいる土地が、地震すなわち断層の動きによって形づくられたものであることがわかります。これらの断層の多くは、日本列島の形成に伴ってできた古傷だと考えられています。講演では、北陸の地震の特徴を、日本列島の成り立ちと現在のプレート運動の両面から解説する予定です。

講演②

「活断層と福井地震、能登半島地震」

講師 福井大学教育地域科学部 准教授 山本博文

2007年3月25日に発生した能登半島地震では、多くの建物が崩壊し、海岸部では最大で40cmもの隆起が認められました。1948年の福井地震では死者3,769名におよび、最大で2mの横ずれ変位が計測されました。私たちの足下にはこのような地震を起こしうる活断層が隠れているかもしれません。では活断層はどのようにして調査されるのでしょうか。どのくらいの活断層が知られているのでしょうか。また活断層調査による地震の長期予知とはどのようなものなのでしょうか。今回のセミナーでは、福井地震、能登半島地震を中心に活断層について紹介してゆきたいと思います。



富山会場

歴史的建造物・町並み

11月17日(土) 14:00～16:00

会場 富山駅前 CiC 3F

お問合せ 富山大学生涯学習教育研究センター

TEL 076-445-6956

福井会場

ふるさとの歴史

11月23日(金・祝日) 14:00～16:00

会場 福井大学地域共同研究センター

お問合せ 福井大学総務部評価課地域連携係

TEL 0776-27-8060

お問い合わせ

金沢大学 大学教育開放センター

〒920-1192 金沢市角間町 電話 (076) 264-5272・5273 Fax (076) 234-4045 E-mail: kaihou@ad.kanazawa-u.ac.jp

主催 富山大学 金沢大学 福井大学 北陸先端科学技術大学院大学
後援 富山県教育委員会 石川県教育委員会 福井県教育委員会